

一室多境 ~ One Room, Many Places ~

近畿大学大学院 山田 陸斗

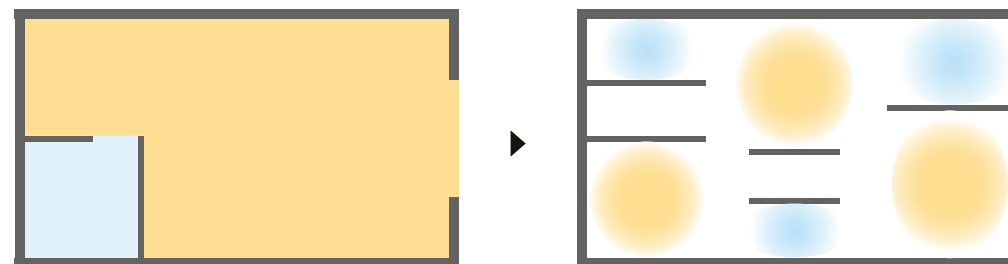


一つの室に多様な境をつくる

28㎡の限られたワンルームに、高さの異なるL字を配置する。L字は空間を緩やかに仕切りながらも、完全に分断せず、視線や奥行きを通すことで一体感を保つ。高さの差は、包まれる感覚や開放感といった空間体験の違いをつくり出し、居住者はその時々気分に応じて居場所を選ぶことができる。28㎡という小さな空間を「一室」に留めず、「一室多境」として、多様な気分と暮らし方を受け止める場を提案する。

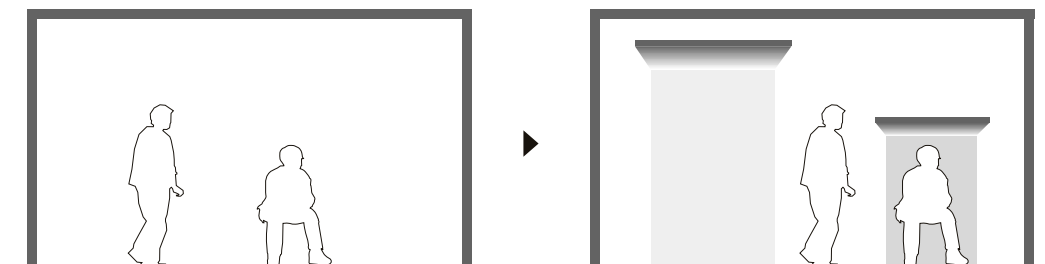
多様な気分を受け止めるL字

L字幅により、多様な気分を受け止める



一室の中に多くの居場所が点在する。

L字高さにより、多様な気分を受け止める



異なる高さの空間が多様な気分に対応する。

Living

L字に囲まれないリビングは開放感のあるリラックス空間となる。

Kitchen

リビングの向こうに街の景色を見ながら料理をする。

Entrance

幅の狭い玄関は4mのワンルームを広く感じさせる。

Loft

L字の上部はロフト空間になり、人の居場所にも物の居場所にもなる。

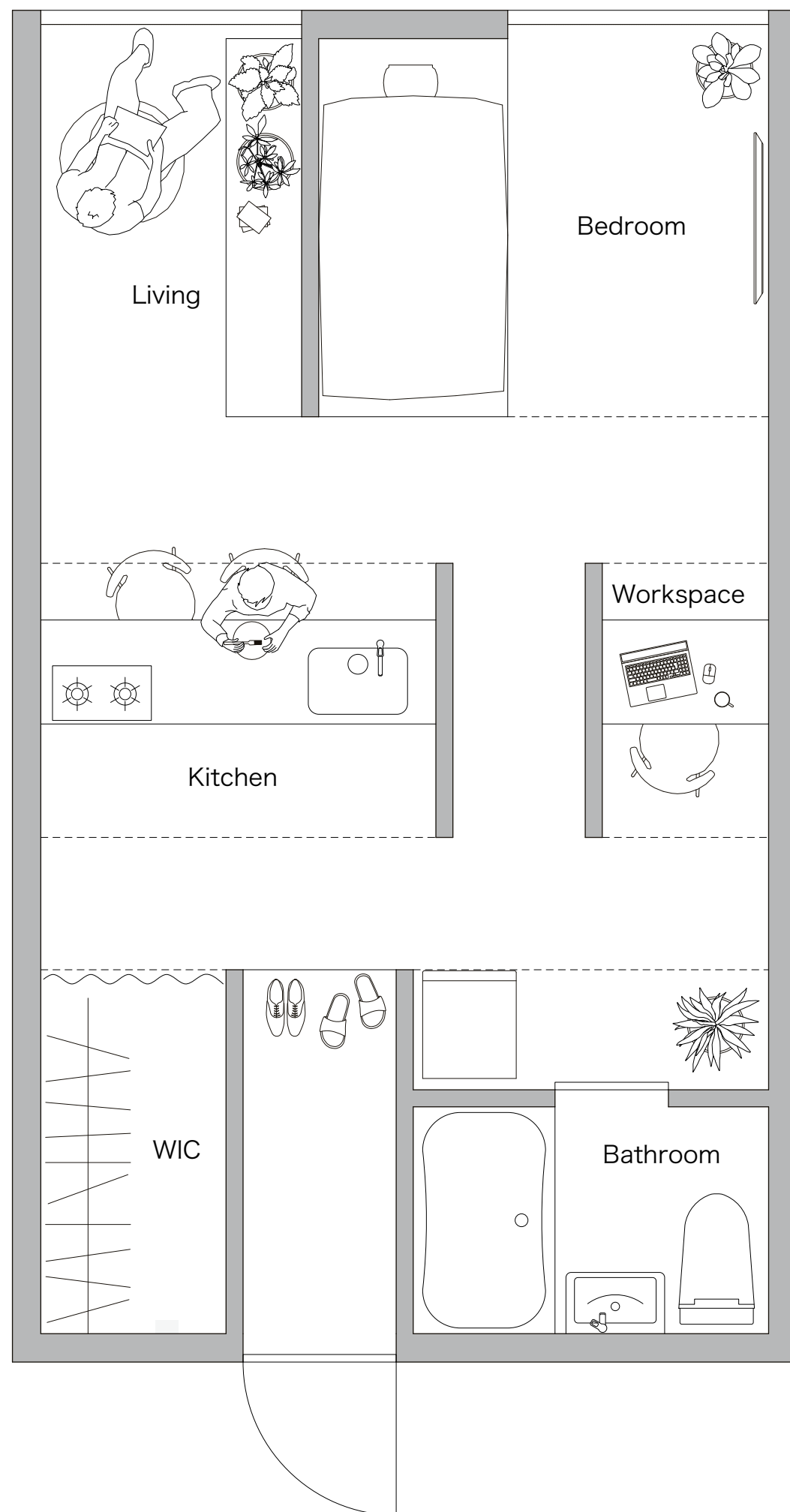
Bedroom

幅広、高さ1.6mのL字の中は適度な包まれ感のある睡眠・リラックスの場となる。

Workspace

幅を狭め、高さを抑えたL字の中は集中して仕事、作業するのに適した居場所となる。





平面図 S=1/30



気分の異なる2人が一つの室に共存する



包まれ感を感じながら仕事、勉強に集中する



唯一L字に囲まれないリビングは開放感を感じる